



<CAM ベトナム・リサーチ・レポート>

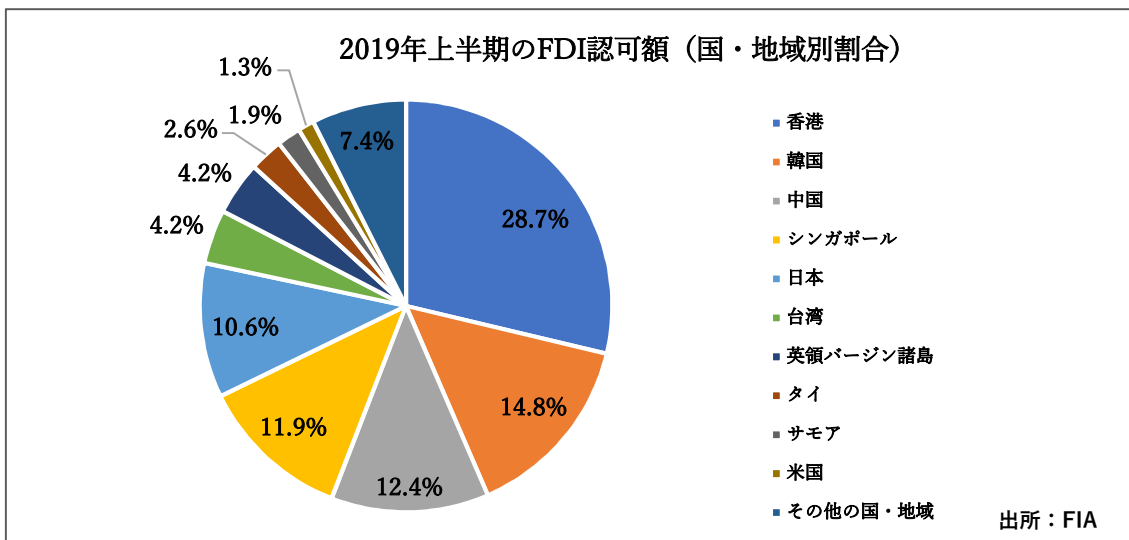
2019年7月2日

ベトナム上半期 FDI

認可額は 185 億ドルで前年割れ

計画投資省外国投資局（F I A）は、上半期（1月1日～6月20日）に認可された海外直接投資（F D I）と外資によるベトナム企業への出資・株式取得は、6,371件、金額ベースで前年同期比9.2%減の184.7億ドル（約1.9兆円）だったと発表した。前月までは過去最高のペースで推移していたが、6月に入り一転、前年を下回る数字となった。これは、昨年大規模なプロジェクトが多かったことの反動であるとされている。昨年は日本のスマートシティプロジェクト（41.4億ドル）や韓国のポリプロピレン工場プロジェクト（12億ドル）があった。これに対し今年是中国のタイヤ工場（2.8億ドル）程度にとどまり、新規登録額は74.1億ドル（前年同期比-37%）に過ぎなかった。但し、投資額の減少にもかかわらず、件数では20%以上増加した。出資・株式取得は98.1%増の81.2億ドルに急増した。主な出資は香港のビール会社（38.5億ドル）だった。

国・地域別では、香港が251件（約53億ドル、前年同期比+355%）で首位。全体の28.7%を占めた。以下、韓国が1,982件（約27.3億ドル、同-46%）、中国が1,057件（22.8億ドル、同+174%）と続いた。新規の認可額ベースでは中国が最多だった。日本は701件（19.5億ドル、同-70%）で5位。前年同期から約70%減少した。昨年6月には住友商事などの日本の大型投資案件が相次いだことから、その反動で今年のF D I 認可額の伸びが大きくマイナスとなった。上半期のF D I 実行額は約91億ドルで、前年同期から8.1%増えている。



以上